

まちの駅10施設 ネットワーク化

県内6番目、宇都宮に発足

連携で快適な観光支援

【宇都宮】市外からの来訪者に快適な観光などを
楽しんでもらおうと、市内10カ所の「まちの駅」施
設が「まちの駅ネットワーク宇都宮」を発足させ1
日、参加団体の一つである大通り1丁目の宇都宮共
和で発足式を行った。ネットワーク化は県内6番
目。今後、まちの駅の認知度向上を目指すほか、ス
タンプラリーなどの交流事業などを検討していく。

(大町浩美)

まちの駅は、NPO法人
地域交流センターの「まち
の駅連絡協議会」(東京都
千代田区)が、申請に基づ
き休憩、案内、交流、連携
機能を併せ持つ施設を認定
する。公共施設のほか、商

店や個人宅なども参加で
き、現在は全国に約180
0カ所。本県は設置数日本
一の鹿沼市(100カ所)
を筆頭に、同日現在で計1
92カ所あり、全国でも活
動が盛んな県とされてい

る。

宇都宮市では2006年
9月に駒生1丁目の県青年
会館コンセーレが初認定。
今回、江野町の宮カフェな
ど4団体が認定され計10団
体となり、ネットワーク化
した。

この日は、まちの駅活動
などについて講演会が行わ
れた後、全国まちの駅連絡
協議会の橋本正法事務局長
(53)が「新たな仲間が増
えてうれしい。ぜひ、道の
駅でできないことをやって
もらいたい」と激励。同日

まちの駅ネットワーク宇都宮発足

発足式に集まった「まちの駅ネット
ワーク宇都宮」の関係者たち



付でまちの駅となった4団
体に認定証が交付された。
まちの駅ネットワークと

ちぎの吉田恵子代表(51)
は「県庁所在地のネットワ
ーク化は全国でも数少な
い。スタンプラリー
などの交流事
業、駅間の情報交
換と併せ、まちの
駅の認知度向上も
図ってほしい」と
今後の活動に期待
を寄せた。

その他の同ネッ
トワーク参加団体
は次の通り。
下野新聞NEW
S CAFE(ニ
ユースカフェ、江
野町)オリオン
スクエア(同)オリ
オンAC(同)らざ

(同) 縁ENISHI(川向
町) 宮サイクルステーション
(同) サムライ寿限無(二荒
町) ろまんちつく村(新里町)